

議会だより



奥出雲町



地域とともに
横高100周年

しめ縄取替を手伝う横田高校生

議会活性化特集号



注
目
記
事

- 町民の声を活かして …… 2
- 予算をチェック …… 7
- 10人が町政のここを聞く …… 10
- 亀嵩町民の森用地を取得 …… 21

のな手不足解消を特集

町民の声を活かして

「町民の声を聴く会」の意見集約

町内9地区で「町民の声を聴く会」を開催し、208人の皆様から貴重な多くのご意見、ご要望をいただきました。
この町民の声を活かし、議会活性化特別委員会を中心に十分に検討を重ね、活性化に向けた取り組みを進めて参ります。

議会活性化特別委員会

地区	開催日	会場	参加人数
布勢	7月8日	布勢コミセン	22人
阿井	7月9日	阿井コミセン	30人
三沢	7月10日	三沢公民館	38人
亀嵩	7月11日	亀嵩公民館	48人
三成	7月12日	カルプラ仁多	4人
横田	7月16日	横田コミセン	10人
八川	7月17日	八川コミセン	13人
鳥上	7月18日	鳥上コミセン	27人
馬木	7月22日	馬木コミセン	16人
計		9地区	208人

1. 議会に関して

①議員のなり手不足の解消

○兼業規定を見直し、夜や土日での開催、通年議会方式などを行うことにより、若者が出やすくなるのではないかと。(布勢)(三沢)(阿井)(三沢)(馬木)(横田)

○若者が出やすい仕組みづくりをしてほしい。議会の新たなやり方が動きだせば町民は評価する。(阿井)(三成)

○議員の仕事を誰にでもわかりやすく理解できるようにすれば、議員になろうという人が出てくるのではないかと。(阿井)(馬木)

○若い人は知名度が低く、経験が浅く、母体もないことなどがネックとなり立候補はなかなか厳しい。(阿井)

○地区とか周りの人が、将来を託すことができる人材を日頃から育てていくことが大切だ。(阿井)

○選挙運動期間が長いので2日くらいにできないかと。(阿井)

○議員が高齢で女性比率が低い。他の自治体の例も学ばべき。(三沢)

○議員活動を住民が求めすぎてもなり手がなくなる。(三沢)

○ふるさと教育も議員のなり手不足の解消につながると思う。(三沢)

○選挙にお金のかからないように改革を。(三沢)

○議員の活動や役割をもっと若い世代に伝えていくことが将来につながる。(亀嵩)

○こども議会や小学校向けの広報で、議会のことをこどもの時から教えていくことが必要だ。(三成)

○報酬が少なく年金をもらわないと議員に出にくいというのが問題だ。(鳥上)

②議員定数

○議員定数を増やして一人当たりの負担を減らしたらいい。定数を減らすと住民の思いが行政に届かない。(三沢)(横田)(馬木)

○議員定数と報酬の問題は議論されていない。具体的に前に進めれば、よし頑張ってみるかという気持ちになる。(三成)(八川)

町民の声を活かして議員

○議員定数が財政的な理由で削減されたと聞くが、議会費が町の予算に対し何割を占めているかも見ていく必要がある。(阿井)

○定数については他の議会のやり方を研究してみてもどうか。(三成)

○議案修正や動議を出したり、否決したりというような力を付けてほしい。そのためには議員の数はもっと多くてもいい。(八川)

○14人の議員定数でまともな議会運営ができていくのか。(鳥上)

③議員報酬

○今の議員報酬では子供を大学に出せない上、4年に1回選挙がある。議員報酬を上げるべきではないか。(阿井)(三沢)(三成)(横田)(馬木)

○報酬については、体験している議会の方から提案してもらいたい。(横田)(鳥上)

○議員報酬が町職員と比べて随分差があり、その違いは何かを誰もが考えないといけない。(鳥上)

○政務活動費も必要ないとは出せばいい。(馬木)

○報酬を日当制にして政務活動費を大きくしたらどうか。(馬木)

④議員活動

○町議会は、住民に政策内容などもっと話をするのが大事である。(布勢)(三沢)(馬木)

○議員同士がグループを作ってこの問題を徹底的にやってみようという勉強会をやっているのか。(三沢)(八川)

○この会は時間が足りない。テーマ別に分けて議論するような場を持ってもらいたい。(龜嵩)(横田)

○今までこういう会はなかったため、この機会をいただいて感謝したい。(三成)(横田)

○議員は地域の代表だから、地域の重大事項については指導力を発揮して欲しい。(布勢)

○期待をしているのでがんばってほしい。(三沢)

○いろんな地域の方の話を聞いて身近な問題を取り上げてほしい。(横田)

○地域医療を守り続ける条例等、議員提案で条例を作って欲しい。(龜嵩)

○議会に期待したいのは、おかしいことはおかしいと言ってほしい。(横田)

○議員と自治会長は立場が違う。お互いの立場で議論が必要だ。(横田)

○町民の意見を行政に反映させてほしい。(八川)

○この会も議員14人が一緒に回られてよいのではないか。(横田)

○地区要望を議員に頼む時代ではなく、議員は違った立場で行政対応をすべき。(横田)

○議会として団員の確保とか消防の今後を提案してほしい。(横田)

○岩屋寺のことを議員がもっと関心を持ってほしい。(横田)

○議員がもっと質問したり討論をしないと若者は政治に興味を持たない。(馬木)

○議員活動がわかるものをもっと出してほしい。(馬木)



○行政をチェックし、町独自の事業で活性化につなげてほしい。(馬木)

○陳情採択後に実現へのフォローと状況のフィードバックをしてほしい。(馬木)

○LJョンや心意気が足りない。もっと議員は勉強してもらいたい。(馬木)

⑤情報公開

○議会中継で休憩に入ってから不自然。休憩中裏取引してのではないか。(横田)(馬木)

○ホームページの町議会会議録検索システムは公開が非常に遅く、会議日程も質問通告も分からない。(布勢)

○情報公開はされているが、肝心なところが住民に伝わらない。議会をより身近に感じてもらえる取組みが必要である。(布勢)

○SNSをもっと活用して若者の意見を聞いた方がいい。(三沢)

○議会を生中継で流す計画はないか。(三沢)

○議会の動画をいつでも見られるようにしてほしい。(三成)

○議会だよりは非常に読みやすい。「ありゃあどげなっ」の記事はすごく楽しんだ。(三成)

○常任委員会も放送してほしい。関心を持つ人が増える。(馬木)

⑥その他

○議会は横田庁舎だけでなく、仁多庁舎でもやってみてどうか。(三成)

○政治に関心が低い人が増えている。今日参加が少なくて残念。(横田)

○住民は議員の揚げ足取りをするよりもっと議論が必要だ。(横田)

○議会はいろんな場面で自治会長を活用してほしい。(馬木)

一、学校再編について

○議員として奥出雲町の教育をどうするのかという話が必要です。(布勢)

○旧村単位だった学校をどうしていくかという話が必要です。(布勢)

○安心安全面で非常に厳しいところに追いやられているのが布勢小学校だ。(布勢)

○小学校を中心とした地域づくりを踏まえた学校再編方針を出してほしい。(布勢)

○複式学級解消については、発言にもっと注意を払う必要がある。(布勢)

○横田中学校は1クラスになるし、今急がれるのは中学校統合の方ではないか。(阿井)

○考えるより行動に移さないと何も変わらない。(阿井)

○若い子育て世代の意見を尊重しないといけない。(阿井)

○中学校の統合も横田高校の存続もあり、全体を見て小学校の再編を考えるべきだ。(阿井)

○体育館もランチルームもグラウンドもないような小学校へは行かせられない。(阿井)

○教育委員会の説明だけでは任せられない。(阿井)

○小学校再編をどう考えるかという会が開かれたが、そういう会に出て意見を言うべきだ。(阿井)

○子供がいる方は受け身ではなく、自分達で会を開いていかないとダメだ。(阿井)

○財政や送迎、放課後児童クラブ、地域づくりなどのことも説明すべきだ。(亀高)



○いろんな世代が子どもの未来のためにどうあるべきかを考えていくことが大事だ。(亀嵩)

○課題や問題点が多々あるが、教育委員会が不安を一つずつクリアしていくことが必要だ。(三成)

○学校問題は地域の後継を育てるという社会政策の面からも考えないといけない。(八川)

○校庭で裸足で走ったり、自転車競技する場がないと小学校の教育にはならない。(八川)

○統合によって空いた校舎は高齢者の施設などに有効に活用してもらいたい。(亀上)



三、その他

○全然関係ない山を1、800万円も出して買う必要はない。(三沢)(亀上)(横田)(馬木)

○町職員は住民に寄り添っていないのもっと教育してほしい。(三沢)(三成)

○Uターン者をもっと応援していくことが必要だ。(布勢)

○棚田地域を全国に発信し活性化して欲しい。(布勢)

○町政座談会を何でやめたのか。(三沢)

○奥出雲にもっと職場づくりを。(三沢)

○玉峰山は景観を意識した再整備をしてほしい。(亀嵩)

○寿山荘が解体中だが地区民に説明がない。跡地はどうするのか。(亀嵩)

○地場産業の大切さも理解して議論してほしい。(横田)

○自治会長をしているが町に閉塞感がある。(横田)

○課題が多くあるが町は意見を聞くだけで解決にならない。(横田)

○消防署が住宅地図を把握していないことがあった。(横田)

○子どもたちが安心して通学できるように通学路の安全対策を。(横田)

○予算をもっと有効に使ってもらいたいというのが町民の大方の意見だ。(亀上)

○今住んでいる人をもっと大事に。(馬木)

○若い人が地域や町政に興味がないのは常会に出て何も言えないから。(馬木)

○奥出雲にはいいところもいっぱいあるのに住民が理解をしていない。(馬木)

○小さな拠点づくりも根本的な解決にならないと思いつてもやるしかない。(馬木)

○リハビリ学院の大学化断念の内容は。(馬木)

○三成小学校の移転場所は良くない。なぜ議会を通ったのか。(馬木)

○地域の子が横田高校へもっと行きたくなるような学校運営をしてほしい。(馬木)

○自然をきれいにする条例を定めて馬木の川をきれいに。(馬木)

住宅整備支援も大人気!

9月10日に行われた9月定例会初日に上程された補正予算(第2号)は、後に予算特別委員会での審議を経て、9月26日の定例会最終日に採決し、全会一致で可決しました。

令和元年度 一般会計補正予算(第2号)

補正前予算額	①	142億7,100万円
2号補正予算額	②	7億2,500万円
補正後予算額	①+②	149億9,600万円

※対前年度同期比104.3%

主な歳出の概要

住宅整備支援事業

1,300万円増額

計画を大きく上回る新築、購入、増改築の申請に対応(1件あたり上限190万円の助成)



ふるさと応援寄付金関連費

2億4,315万円増額

寄付金増により積立金を増額等

地方債繰上償還経費

特別会計への繰出分を含む

3億5,473万円増額

財政健全化に向けた借入金の繰上償還の実施

プレミアム付商品券 発行事業

3,710万円増額

消費増税の負担緩和に関連する事業実施方法変更



保育所給食費補助金

710万円増額

幼児教育無償化に伴い副食費(おかず代)助成を増



育苗センター設備更新費

1,463万円増額

育苗箱自動積重ね装置を更新

町道修繕事業

1,800万円増額

自治会からの要望等に応じて修繕工事を追加

ふるさと応援寄付金倍増!!



Check 予算をチェック! 質疑

上程された各会計補正予算を、予算特別委員会と総務経済・教育福祉両委員会にて3日間にわたり詳細に審査しました。主な質疑は以下のとおりです。

《ふるさと応援寄付関連経費》

2億4,315万円

景山利則委員 現段階での件数、額、対前年比、寄付者の圏域割合は。

企画財政課長 4月から8月で9,800万円。前年比で160%。件数は8月末で4,000件、150%。圏域は関東圏。特に東京、横浜が中心だ。

内田雅人委員 リポートされた方を把握しているか。リピーターにはさらにお礼の意味をこめられないか。

企画財政課長 ふるさと納税のリピーター率は把握していないが、仁多米を指定される方についてはリピーター率はかなり高くなっている。さらなる感謝については総務省の規制があるので、お礼のお手紙と高額な寄付者には町長から感謝の電話をしている。

大垣照子委員 日本農業遺産認定の効果は。

企画財政課長 認定によっていくらか増えたかの明確な数字は不明だが、かなりの割合で良い影響がでているのではないかと。

《住宅整備支援事業》 1,300万円

田食道弘委員 新設の住宅整備支援事業費の申請件数と内容は。

地域づくり推進課長 相談申込は31件増。新築11件、改築15件、空き家改修5件で仁多地域が19件、横田地域が12件。

内田雅人委員 当初予算より倍額となるが、住民のニーズの把握や周知の仕方は。申込みが多い要因は。

地域づくり推進課長 申請が多い要因は、消費税増税前のかけこみや建設業者の営業活動、そして助成金を受けた方からの口コミが多かった。

《プレミアム付商品券発行》

3,710万円

内田 英委員 事業対象となる子育て世帯、非課税世帯数は。該当者は届出をしなくても、役場から通知するのか。

福祉事務所長 3歳未満児は230人と確定しているで、該当の方に引換券を送る。非課税世帯1,920人には申請書用紙を送付している。

《有害鳥獣捕獲対策事業》 300万円

大垣照子委員 今年はイノシシ被害が特に多い。捕獲実績は。

農業振興課長 当初予算は1,200万円だが、捕獲頭数増が見込まれ、このまま推移すると1,500万円に達するので補正が必要になった。

《育苗センター設備更新費》

1,463万円

土屋武雄委員 これは来年に向けてのものか。

農業振興課長 施設が古くなってきて更新が必要になっている。今年の春、一部壊れた機械設備の来年度稼働に向けた更新だ。

平成30年度一般会計決算審査

投資的経費対前年比21.6%の増

認定

平成30年度の奥出雲町の各会計年度の決算について、決算特別委員会において執行部の出席を求め詳細に審査しました。後の本会議において賛成10名、反対3名の賛成多数で認定しました。

☆決算額の中で大きな割合を占めたもの

区分	平成30年度
歳入総額 (A)	147億7,310万円
歳出総額 (B)	144億3,327万円
歳入歳出差引額 (A) - (B) = (C)	3億3,983万円
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	7,534万円
実質収支 (C) - (D)	2億6,449万円



災害復旧事業
2億7,000万円

河川55か所
道路34か所



玉峰山荘大規模改修事業
1億8,400万円

温泉棟、冷温水施設、
照明器具、厨房機器
等の改修



道路整備事業
7億1,600万円

24路線の整備

地域情報化施設
整備事業

8,400万円

ネットワーク機器購入

決算審査など

内田 勇委員 きらり輝く地域づくり事業の状況は。地域づくり推進課長 12団体へ支援した。

土屋武雄委員 畜産クラスター事業の状況は。農業振興課長 現在、実施に向けて関係する皆様方の意見を調整中である。

藤原和範委員 空き家バンクの改修事業4件あるが、今後予想される件数は。

地域づくり推進課長 登録件数は132件で、これまでに28件の改修実績がある。今年度は8件の予定である。

結婚子育て応援課長 算定に基づいた金額だが、役員には入っていない。決算状況は県と一緒に監査している。

内田雅人委員 保育所費で毎年5億円以上で運営委託しているが、保育士の処遇改善について町がチェックできているのか。町から役員に入っているのか。

大垣照子委員 凍結された三成小学校新校舎設計委託料の損失について、どのように考えているか。

財政健全化判断比率は？

- 実質公債費比率 13.3% (対前年度比3カ年平均で1.0%改善)
3カ年平均が10%を超えると起債を発行するために許可が必要な「起債許可団体」になる。
- 将来負担比率 175.7% (前年度に比し1.9%改善)
350%になると「財政健全化団体」となる。

●14事業特別会計の決算状況はいずれも黒字決算

一般会計から特別会計への繰出総額は、19億9,627万円で対前年度比較で1,500万円の減となりました。

主なものは、奥出雲病院事業5億7,656万円、農業集落排水事業3億3,700万円、水道事業4億2,495万円、後期高齢者医療保険事業2億5,676万円、などで、14事業特別会計の総合収支はいずれも黒字決算となりました。

教育魅力課長 今、こうするとうう答えがなかなか難しいが、設計は修正で活かしている。設計は修正で活かしている。少し時間をいただきたい。

大垣照子委員 凍結された三成小学校新校舎設計委託料の損失について、どのように考えているか。

討論

1)平成30年度各会計歳入歳出決算認定

反対

田食道弘議員
町民福祉、いのちと暮らしを守るための予算配分がされていない。また国保会計の赤字は国保税の負担軽減をしていない結果だ。

賛成

内田雅人議員
財政健全化も図りながら事業の成果が見受けられる。日本農業遺産認定に向けた推進活動、災害復旧、教育費など。国保事業も医療費の抑制が図られ評価する。

反対

大垣照子議員
三成小学校改築事業の設計調査費、リハビリ学院専門職大学化に向けた寄付金、合わせて7,100万円はまったく無駄使いであり認定できない。

賛成

景山利則議員
地方交付税の減少で厳しい財政状況の中、しっかりと先を見据え、さまざまな行政需要に的確に対応し、心豊かに安心して暮らせる町づくりのための健全な財政運営が図られている。

反対

田食道弘議員
「公営住宅等家賃滞納整理事務処理要綱」を定めた上で事務処理し、最終手段として裁判上の申立をすべきではないか。

2)裁判上の申立（滞納家賃等の督促に応じない滞納者に対し、支払い求めるため）

条例制定など

臨時・嘱託職員の処遇改善を図る

会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当支給条例制定

全会一致

条例の制定

○会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当支給条例制定
臨時・嘱託職員180名について、来年度から本制度が始まり約1億円の増となる。

全会一致

条例の改正

○奥出雲病院の使用料及び手数料に関する条例の一部改正
10月1日からの消費税率及び地方消費税の改定並びに算定根拠規程変更に伴う改正。

採択

請願

○三成小学校改築工事の延期
三成地区小学校移転再編協議会

委員会の意見

工事延期だけでなく新校舎の設計見直し、仁多地区全体での説明会開催の要望もあり、判断材料にすべきだ。

採択

陳情

○町道郡三成線道路改良工事 (三所地内)
○県道木次横田線道路改良工事 (郡地内)

委員会の意見

現地を視察し、いずれも必要と認める。

議案のうち、賛否が分かれた議案の審議結果は以下のとおりです。

件名	結果	岩田明人	大垣照子	村尾明利	内田精彦	内田勇	川西明徳	藤原和範	石原武志	内田雅人	土屋武雄	景山利則	糸原壽之	田食道弘
1) H30年度各会計決算認定	可決	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●
2) 裁判上の申立	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●

議長（藤原充博）は採決に加わりません。 ○：賛成 ●：反対

質疑の一部を要約してお伝えします

質問時間は、一人30分以内
今回は10人が登壇しました。



川西 明徳 議員

質問 小学校で未来のまちづくりを

町長 建設地の再検証をする

質問 町は学校再編の議論をすすめるとしているが、公共施設再編計画の削減率3割と、めざす学校のイメージ、住民要望はどう組み入れるのか。

町長 小学校再編方針は公共施設等総合管理計画の推進提案ではない。

学校で教科等の知識や技能を習得させるだけでなく、社会性や規範意識を身に付けさせることが重要なため、一定規模の児童集団が望ましい。

三成小学校移転改築は、予定地が土砂災害特別警戒区域に見直されるので工事を凍結し、建設地の再検証をする。

質問 町公共施設等総合管理計画と町立小学校再編計画との整合性はどうか。

町長 公共施設等総合管理計画は人口減少・施設の老朽化、税収等の伸び悩みの中、課題を整理し長期的視点で総合的・計画的な管理を推進する目的で策定した。



町民の森の進捗状況は

質問 「町民の森」(亀宮団地)は玉峰山と玉峰山荘とを一体に取組み、地域振興を図るとの事だが振興計画の進捗状況はどうか。



町長 山林の利活用は、「町民の森」の目的である公益的機能としての236世帯の水源確保と、玉峰山荘とを一体的に地域振興することだ。財政面、中期計画等を勘案しながら検討する。

保険料滞納者への対応について

質問 後期高齢者医療保険料滞納には、行政がもっと高齢世帯に寄り添うべきだ。

町長 滞納世帯の納付相談では、他の生活支援につないでいる。短期証発行は受診抑制につながっていないとは考えていない。生活困窮者支援は連携によりしっかり対応する。

会計年度任用職員の処遇は

質問 会計年度任用職員制度は、処遇改善する条例制定案になっているか。

白期間の廃止、休暇・休業制度の拡充を検討している。

水道料金値上げはすべきではない

質問 水道・下水道の値上げ答申が出ている。

町長 改正法の趣旨は、臨時的任用等の厳格化と給付規定等の整備だ。報酬面は現行を下回らないとともに空

所得減、増税に悩む町民を困らせる値上げはすべきでない。

町長 料金値上げは住民生活に直接影響するので十分に配慮し慎重に進める。設備更新補助は引き続き国に要望する。



内田 雅人 議員

質問

県政とのさらなる連携強化を

町長

十分に連携を図り施策実行していく

質問 丸山知事の奥出雲町への理解、認識をどう感じるか。たたら製鉄に由来する資源循環型農業が持つ独自性や価値は日本農業遺産になり

町長 丸山知事が就任以来、様々な機会を設け意見交換している。十分にコミュニケーションと連携を図り、施策実行していく。

質問 県政運営の指針となる「島根創生計画」の案案が取りまとめられた。知事が変わって初年度の今こそ、さらなる連携強化で人口減少の具体的対策を打つことが求められる。まず町長は県とのコミュニケーションは充分か。保守分裂となった県知事選挙の背景があるが。

町長 丸山知事は県政策企画局長として総合戦略策定にかかわられた業績もあり、県内の市町村のことはご存知のことと思う。本町の状況は引き続き訴えていき来町も要望している。

大きな特色がある。

町長 丸山知事は県政策企画局長として総合戦略策定にかかわられた業績もあり、県内の市町村のことはご存知のことと思う。本町の状況は引き続き訴えていき来町も要望している。



島根創生計画

県民の皆様のご意見をお聞かせください。
募集期間 ▶ 9月26日(木)まで

策定が進む島根創生計画 県と連携した具体的な人口減少対策を

質問 島根創生計画は3つの柱、8つの基本目標からなっている。県と連携する人口減少問題への具体的な対策は。新たな施策はあるか。

町長 特に20代から30代の女性の視点に立ち、まちづくり

取り組む必要がある。子育て世代の環境整備、雇用創出が重要だ。

再質問 結婚、出産、子育ての切れ目のな

い支援の具体的な内容は。

町長 重要課題だ。子育て世代の意見を聞き有効な施策を今後検討していく。

木次線存続のための施策強化を

質問 廃線の話が出る前から存続へ向け手を打っていくことが必要だ。

トロッコ列車は次の車両検査で更新されない可能性が高い。あと2年半だ。新たな観光列車を沿線自治体で共同所有する、あるいは車両改装費を負担するなどではないか。

新実現に向け申し入れを続ける。

質問 坂根駅からの車窓景観は人気だが、線路わきの木々で見えない場所が多い。伐採できないものか。

町長 眺望が悪い意見は多いが、木次鉄道部からは鉄道林で保安上伐採は困難という回答だ。

その他の質問

町長 JR米子支社と協議の中で新車両の費用を自治体が負担することも提案しているが、明確な回答はない。新車両更

関係人口拡大を大きな戦略のひとつに。



質問

「みらいと奥出雲」 多目的会議室の無料開放を

町長

活用いただきうれしく思う
前向きに検討したい

景山 利則 議員

質問 「みらいと奥出雲」の無料で利用できる交流拠点の土間スペースは、毎週木曜日、「おしゃべり商店みらい」として開設され、毎回ボランティアアスタフを含め、30人前後が集まり大変な好評ぶりである。

しかし、本来このスペースは大勢での利用を想定していないため、手狭で大変だ。土間続きにある有料の多目的会議室を木曜日に限り、起業・創業支援施設の設置及び管理に関する条例第13条第3項（町長が特に必要と認めるときは、使用料を減免することができ）を適用し開放できないか。



にぎわう「おしゃべり商店みらいと」

町長 土間スペースを活用いただき非常にうれしく思っている。多目的会議室は、起業・創業施設としての大きな役割を担っていることから、無料開放については、入居業者の起業活動に支障が出ないよう利用頻度などをみて前向きに検討したい。

質問 サイクリングターミナルはサイクリングを楽しむ個人・家族・グループの利用を主眼にした施設で、建物の構造・宿泊する部屋のスタイルもそれに沿ったものになっている。この施設は大半が大部屋で、風呂・トイレが離れた場所に

サイクリングターミナル客室のリニューアルを

あるなど不効率・不便との声もある。そこで洋室4人部屋、10畳の和室などを、利用度が高くなるようシングル化し、利用促進による回転率と収益のアップにつなげるべきと考えるがどうか。

町長 リニューアルについてはお客様のニーズ調査を行い、併せて利便性の高い施設・省エネへの対応も勘案し、財政状況を踏まえながら検討したい。

高校県外入学生にバス無料券の発行を

質問 横田高校の魅力化を進め、3クラス体制を維持して行くためには、県外から入学している学生に対し、本町の良さを囁かしさを伝えることも大いに必要だ。そこで、休日に町内の名所・旧跡などを自由に訪れることができる、バスの無

料乗車券（フリーパス乗車券）の発行ができないか。

町長 生徒の移動手段についての課題は認識している。生徒達のニーズや、交通を所管している課とも協議しながら、支援方法について検討したい。

質問

地方創生・総合戦略の策定は



藤原 和範 議員

町長 総合計画と同時に令和2年に策定する

質問 次期総合戦略の策定予定は。

町長 町の基本計画である総合計画との整合性を図るため、2つの計画を同時に策定する事とし、本年度期限の総合戦略を1年延長し、令和2年に策定する。

質問 次期総合戦略で、特に力を入れた重点的な推進事項は。

町長 現時点で検討している新たな施策として、若者や女性が活躍でき、子育て世帯が安心して生活ができるための環境整備・雇用の場の創出などが重要と考えている。

教育や医療・福祉産業活性化などについては総合計画に盛り込む。

日本農業遺産認定後の取り組み状況は

質問 本町の農産品である仁多米や奥出雲和牛などの認証制度や表示シールの検討状況は。

町長 4月より農業遺産推進プロジェクトチームを設置し、農産品の認証制度、農産品の推進などを中心に検討している。認証制度の基準設定等については、今後めざす世界農業遺産認定申請との関係から継続して検討する。

今年度はロゴマークを募集・作成し、イメージアップと宣伝効果を図るよう検討している。

質問 ふるさと納税サイトに日本農業遺産認定を掲載しPRしているが、その効果は。

町長 掲載した効果を計ることは困難であるが、昨年度同期に比して約3,900万円、延べ人数約1,400人の増加(8月末現在)だ。

滞在型旅行農泊の展開について

質問 農泊を奥出雲町の豊かな自然や観光資源と農業遺産等に絡めてどのように展開するのか。

町長 本町の豊かな自然環境や観光資源、食と農の魅力や棚田景観を情報発信していく。

同時に滞在型・周遊型観光客の増加による観光産業への経済効果やインバウンドによる地域の活性化も視野に、農泊に関わる多くの皆さんの参画を得て理解を深め、宿泊や体験のできる受け皿となるよう観光協会と連携し取り組む。



新米収穫祭 (道の駅 酒蔵奥出雲交流館)



農泊の取り組みが始まった農家民宿「大上工の里」



内田 勇 議員

質問 関係人口の創出で地域活性化を

町長 仕組みの構築について調査研究から始めたい

関係人口の創出に向けたモデル事業の例

滋賀県 長浜市	首都圏在住で市にゆかりのある人を対象に、体験ツアーや情報発信を実施
長野県 やすらぎ 泰阜村	山村留学の卒業生らがイベントや地域活動に参加できる仕組みをつくる
鳥取市	アーティストらが一定期間滞在し、地域課題の解決へ協働する機会をつくる
島根県 おひなん 邑南町	空き家を活用したDIY(自分で作ること)愛好家によるシェアハウスづくりを実施

質問 関係人口の創出を図り、地域活性化に欠かせない人材確保が重要だ。

① 都市部の若者を農村に受け入れる体験就業の募集を。

② 若者が地域とかかわりを持つことを支援するための仕組みの構築を。

③ 増え続ける空き家対策として古民家の有効活用につながる

農泊のさらなる推進を。

④ 空き家再生事業の実施等でインパクトのある取り組みを。

町長 ①県や定住財団との連携を図り、Uターンフェア・就業相談会等で募集を行っていく。

②どのような関係人口を中心に進めていくのか仕組みの構築

町長 本町にコウノトリが飛来し、長期滞在するようになった。

質問 コウノトリが雲南市では3年連続で自然繁殖している。奥出雲町にも飛来したことがあるコウノトリが自然繁殖できる巣塔の設置はできないか。

コウノトリが羽ばたく町をめざして

について調査研究から始めてみたい。

③ 奥出雲町ならではの体験プログラムによるモニターツアーを実施し、受け皿となる農泊の推進に取り組む。

④ 空き家を活用した農泊は、宿泊者が農業体験などで地域と交流し、奥出雲町ファンとなり関係人口の創出につながる重要な手法の一つとなる。

繁殖活動を進めることで、未来を担う子ども達に夢と希望

質問 食物連鎖の頂点に立つコウノトリが繁殖することは、生物多様性の豊かさを証明することにつながっている。

子ども食堂の運営について

質問 子ども食堂が一年間で1,400カ所増え、全国で3,718カ所に広がっている。

地域の交流拠点として町にとっても重要である。

繁殖活動を進めることで、未来を担う子ども達に夢と希望

た場合には、巣塔の設置を検討したい。

質問 食物連鎖の頂点に立つコウノトリが繁殖することは、生物多様性の豊かさを証明することにつながっている。

子ども食堂の運営について

町長 地域で子どもや高齢者が集う場所が必要であり、世代交流の場として子供食堂は有効だ。小さな拠点づくりの一環として取り組むのであれば積極的に支援していく。

質問 棚田地域振興法の成立に伴う対応は

町長 景観形成に大きな追い風になる



村尾 明利 議員



棚田が美しい景観の保全を

質問 棚田地域振興法が6月成立した。棚田の荒廃を防ぎ保全していくため、国を挙げて棚田地域を振興する枠組みを作らぬ、農業生産に留まらない多様な活動を省庁横断で支援する

としている。棚田地域の振興に向けて国の責務を明確化し、都道府県は振興計画を策定、市町村は振興活動に励む農業者や住民、NPO法人などでつくる協議会を組織する

ことも定めている。国は棚田地域の活動支援に向けて財政、税制上の措置を講ずるとしているが、本町の対応方針は。

町長 県の地域振興計画が現時点では策定されておらず町の対応方針は言えないが、策定の過程で取り組みを進めていきたい。

質問 本町が期待するものは何か。

町長 具体的な支援内容が明らかでないので一概には言えないが、本町の棚田での農業生産、農地の保全、景観形成を進める上で非常に大きな追い風になると期待をしている。

県の子ども医療費助成について

質問 「島根県内で暮らす小学生までの医療費無料」の県知事の公約は断念され、従前の助成に留まった。この公約違反とも言える丸山知事の方針について所見は。

町長 完全無償化にならなかったのは残念。意見交換では再度要望したところであり、高校生までの無償化も訴えていきたい。

町の特産品認証制度について

質問 日本農業遺産認定に係る本町の特産品に認証制度を設け、町外・県外へ認知度を高めると共に、有効な販路拡大につながる認証マーク等の検討を始めるとしているが、進展状況はどうか。

町長 本年度の今年度は、初年度の今年度は口ゴマークを募集、作成し、シールやパンフレットなどに活用していくことでイメージアップと宣伝効果を図るよう検討している。

その他の質問

町長 本年4月より関係する5つの課による農業遺産推進プロジェクトチームを設置し、農産品の認証制度や農泊の推進

玉峰山の観光開発について。



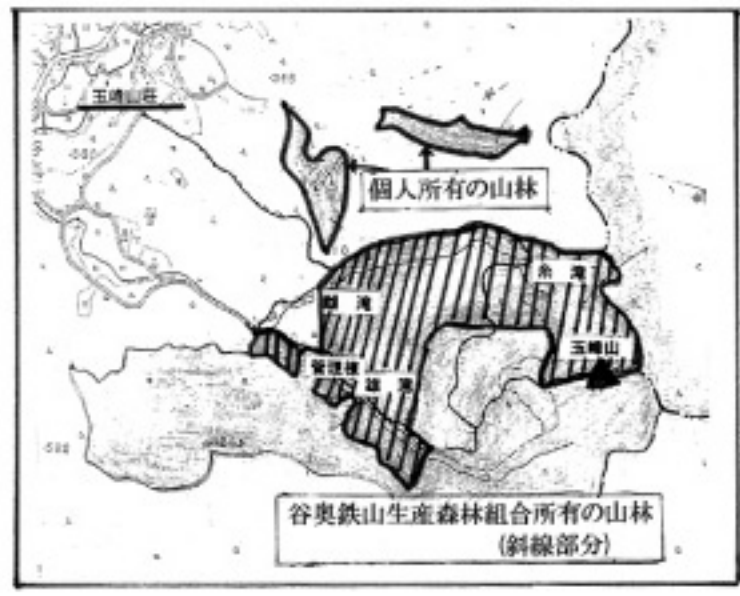
質問 玉峰山周辺山林購入の考え直しを

町長 条件合わずは契約しないことも

大垣 照子 議員

質問 玉峰山周辺山林の取得は、もともと組合と個人の売買物件だ。個人の申し出で60haもの膨大な山林を4,600万円、なぜ町が買わねばならないのか。しかも20年前の購入金額だ。証明書類の提示もなく、雲を掴むような話。納得できる答弁を。

町長 個人所有地と一体的取得を考えたが、個人所有地は難航し分離したい。組合の2,800万円と個人の1,800万円は、別個に議会へ契約案件として提示したいが、契約金額等条件が合わないときは契約しないこともある。



質問 保安林は伐採や開発に制限のある森林とされ、落石や雪崩防止、土砂崩壊や土石流防備等の役割があり、キャンプ場等の整備は不可能に近い。購入して整備や管理はどうするのか。

町長 水源涵養、登山道整備、大山などの眺望ができる景観整備が先決だ。財政を検討し手がけたい。

質問 登山道より生活道路の整備が先。保安林は伐採できず利用価値はない。購入は考え直した方が賢明だ。

町長 生活用水確保が最優先だ。山頂からの景観、玉峰山荘との連携も考え、財政面を考慮し検討する。

質問 町内に団地化した山林は他にもある。他の山林所有者から、売買の希望があったときにも希望価格で購入しなければ行政としての公平

学校再編について

さは保てず、行政責任者として全て対応するのか。
町長 趣旨を十分検討し対応したい。

質問 仁多中学校周辺は県の土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域指定が確定的となり、三成小学校改築事業は凍結となった。

この半年間、町民の皆さんに大きな不安と混乱を与えた。教育長、謝罪は。

教育長 各地区協議会、保護者の皆様に迷惑をお掛けし心からお詫びする。

質問 この大きな問題は、膨大な予算が必要で失敗は許されない。国の交付金決定の辞退は恥ずかしい。教育は人材を育てる重大な使命がある。

教育長 町民、議員からも意見があり、大失敗がないよう慎重に日本一の教育の町づくりを目指したい。



内田 精彦 議員

質問 来庁者への案内係の設置を

町長 挨拶・案内等積極的に行うよう職員に指示する



横田庁舎 受付窓口



仁多庁舎 受付窓口

質問 受付、案内が十分と考えているのか。

町長 庁舎内の案内や簡単な観光案内、担当課への連絡対応など来庁者への利便性を図っている。

再質問 近隣市町村では特別に受付・案内係があるが奥出雲町では考えられないのか。

町長 本町では、これまでやったことがなく住民からの要望もないので、設置の考えはない。

再質問 町外からの来庁者に案内係の設置を。

指定管理者の表示について

質問 町有施設はその目的により指定管理をしているが、町民への情報公開等からすれば、指定管理者、使用者等を看板により表示し、町民に何の目的で建設し、どのように使用しているのか周知、認識いただくのが重要と考える。看板設置についてどう考えているのか。

町長 募集の際の条件に指定管理者名の明記について言及し

町長 町民課と税務課の窓口対応を引き続き行い、総合案内の表示をわかりやすい場所に設置し、今後は来庁者への挨拶や情報案内を積極的に行うよう職員に指示する。

ていないので、指定管理者と相談しながら今後検討する。

公民館の看板について

質問 鳥上、横田、八川、馬木公民館に表示看板の設置はできないか。

町長 まずは玄関入口に簡易看板の表示を検討する。外部への看板設置については費用を要することから将来的な課題として検討する。

奥出雲交通バスの車体色について

質問 最近はデザインのない真っ白なバスが走っているが、理由があるか。わかりやすくできないか。

町長 バスの特別塗装等に約100万円かかり、その経費の節減と後の維持管理経費等を奥出雲交通

町長 本年度の熱中症対策の実施状況、選挙公報の配布と期日前投票について。

その他の質問

公民館の看板について

再質問 費用がかかるとかという話でない。看板設置するのが当然ではないか。

町長 看板設置は必要と思う。できるだけ早急に対応したい。

訂正

議会だより54号の答弁の左記部分を削除します。
議会の議決は必要としないものである。
条例は議会議決をするので議決後住民へ公布される。規則は議会議決が無いので住民への公布はしない。



質問 横田地域にも子育て支援住宅地整備を

町長 他事業とあわせ総合的に支援する

糸原 壽之 議員

質問 昨年度、三成滝の上に少子高齢化対策として、子育て世代を対象にした住宅分譲地が整備されたが、横田地域にも同じ事業を実施されたい。

町長 人口減少、少子化対策として住環境の整備は定住の基

東京オリンピック横田高校出身者への支援は

質問 現在、地元横田高校出身のホッケー選手12名が、日本代表候補選手として代表入りを目指して頑張っているが、今後どのような支援を行うか。

町長 選手を応援する広報誌の発行や横断幕の作成など、町民の皆様と一緒に頑張って支援、激励を行う。

本であり、最重要課題であると考えている。横田地域にも同じ事業との提案については、需要と物件の供給を調査し、本議会に追加補正を提案している住宅整備支援事業など、他の事業とあわせ、総合的に支援を行っていく考えである。

質問 オリンピックの際、日本チームの応援として、町民の応援団ツアーを企画実施は。

町長 宿泊先等の確保の課題もあるが、ホストタウン向けのチケット販売の予定があるので、これらを購入するなどして、奥出雲町から応援に行っていただけるよう今後検討する。

島根創生計画と本町の小学校再編計画の整合性は

質問 島根県は今年度、人口減少に歯止めをかけ、人口減少に打ち勝つ島根をつくる島根創生計画を策定中であるが、その中で、Uターンを重要視している。本町の小学校が2校になる再編計画は

町長 今後も人口減少対策として、具体策を織り込んだ町の総合戦略における諸施策を県の創生計画

Uターン者を受け入れにくくし、県の計画と整合しないのでは。

と一体となって推進する。また三成小学校の移転の凍結と相まって、再編計画も一部修正しながら検討していく。

質問 副町長の考えは。

副町長 県と連携し一体となって取り組むことが重要である。県の創生計画もこれから具体的な施策が展開される。子育て支援も含めて、いろいろな意見交換の中で十分に連携し、今後検討していきたい。

その他の質問

奥出雲町の県知事要望はなにか。



先輩を応援する横田高校ホッケー部



田食 道弘 議員

質問

小学校再編は情報開示徹底を

町長

関係者に限らず、広報配布等周知する



説明会では意見、質問が噴出

質問

各校区で開催された説明会から2カ月を経た9月2日になって、ようやく当日の意見、質疑応答が町のホームページで公開されたのはなぜか。

三成小移転建築工事入札中止については、事実経過が町民に説明されず、先日

ようやく議会への説明と関係者への周知があったのはなぜか。

教育長 説明会の質疑等の公開が遅れたのは、想定を上回る質疑があり、整理と回答の作成に時間を要したためである。今後は早く公開できるようにしたい。

町長 入札中止の町民全体への説明が遅れたのは、今後の進め方についての法律

関係の整理や全体的な方向性の整理に時間を要したためだ。

質問

教育委員会など、この課題に対するスタッフが不足している。重大で緊急な業務に対処するために、増員、配置換え、学校と地域を考えるプロジェクトチーム設置など早急に進めるべきだ。

町長 来年度の補強を基本としつつ、年度途中での対応も含めできるだけの対応を行いたい。

再質問

全校区で小学校再編方針がきっかけになって多くの住民が語り合っている。町長、教育長も胸襟を開き一緒に語るのではないか。

町長 私も一緒になつて町民の皆様と意見等を語り合いたい。

日米貿易協定の首相署名拒否や国会批准しないよう求めよ

質問

日米貿易協定が締結されれば、日本はかつてない農産物市場の開放となり、日本農業と食料にもたらす打撃は計り知れない。本町の農業、地元商工業にも大きな影響を与えることは必至だ。安倍首相と政権に強く署名拒否、国会批准しないなど求めるべきだ。太いパイプがあると、いう地元選出国會議員にも強く要請を。

その他の質問

国保税のさらなる引き下げ、農業支援強化(獣害対策、草刈り支援)、各地区の活性化支援(予算増額、公民館事務能力強化)について。

雲南市・奥出雲町合同研修会 10月21日

雲南市議会議員・奥出雲町議会議員による第一回合同研修会を仁多庁舎大会議室で開催し、36名の出席により木次線存続と利活用について共通した認識のもと質疑等熱心な研修会が行なわれました。

講演内容

「木次線存続に向けて」

NPO法人江の川鉄道 森田 一平氏

三江線の歴史、廃線に至る経緯とその後の状況、存続に向けた活動への助言など実例を挙げ詳しく講義いただきました。

「島根県内の公共交通を取り巻く状況」

島根県交通対策課長 小笠原 唯真氏

県内の交通機関（鉄道やバスなど）利用状況や今後の予想など事例を挙げて説明いただきました。

議会では木次線活性化促進議員連盟を設立し会議を重ね、今回の合同研修会を実施し、10月13日には実際に列車に乗りし実体験による問題点など確認しました。
沿線出身の議員として何ができるか、何をどのようにすべきか、さらに具体的な事業・目標設定など行い、利用促進運動を進めていきます。



町村議会議員研修会報告

島根県町村議会議員研修会 10月28日

松江タウンプラザ大会議室において140名あまりの議員が参加し、2名の講師を招いて行われました。

講演内容

「最先端技術で変わる地域と自治体の未来」

株式会社総合研究所 シニアスペシャリスト

井上 岳一氏

10年後には公共交通は自動運転に代わるなど、超スマート社会が到来するという衝撃的な内容で刺激を受けました。これからの自治体は最先端技術を生かした変化が求められます。

「地方議会改革の動向と課題」

山梨学院大学 法学部教授 江藤 俊昭氏

議会の役割、政策サイクルの展開、議員定数・報酬などについて講演いただきました。住民自治の根幹は議会、二元代表制、定数・報酬を将来のために考えることなど、議会が持続するための条件を考えさせられるタイムリーな講演でした。



追跡! ありゃあどげなっただ?

三成小学校改築事業 凍結

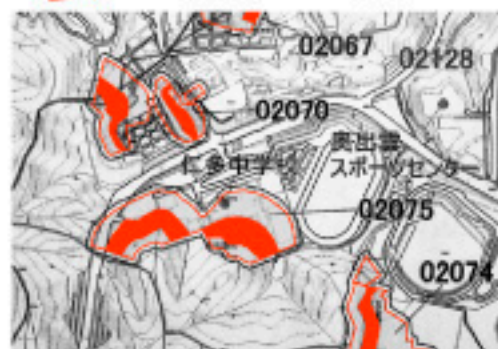
三成小学校移転予定地が、島根県が指定する土砂災害特別警戒区域に新たに該当となるため、9月に事業の凍結が決定されました。三成小改築はどうなるのか、また小学校再編は、今後について追跡調査しました。

◎建設予定地の再検討

- ① 現予定地の安全対策を行い移転
 - ② 別の候補地に移転
 - ③ 現三成小学校敷地で建て替え
- 町教育委員会は以上3案を検討し来年の1月に候補地を絞り込むとしています。

改築時期はすれ込み必至

◎全体スケジュールの再検討
凍結によりスケジュールが見直されますが、新校舎完成は当初計画していた令和3年3月からすれ込みことは必至と言えます。耐震基準を満たしていない校舎で子どもたちが学ぶ現状が長引くことが懸念されます。



仁多中学校付近のハザードマップ

小学校統合の方針は変わらず

◎小学校再編方針を一部修正

町内に10校ある小学校を2校に統合する再編方針は変わっていません。小学校再編方針の一部を修正して来年の2月に示すとしています。

議会としてはそれを待たずに、教育福祉常任委員会を中心として12月議会などで経過報告を求めていきます。

ありゃあどげなっただ?

亀高町民の森用地を取得

可決

11月臨時会

賛成多数
10:3

財産の取得

物件の種類 土地
物件の数量 6筆 542, 205㎡
取得の方法 買収
取得の価格 2,700万円
取得の相手方 谷奥鉄山生産森林組合

討論

反対

内田精彦議員 分離した個人所有地取得の難航は別の条件があるのか。今回の減額分がそちらに行く不安もあり、個々に予算計上し直すべき。

賛成

石原武志議員 玉峰山は地域の財産であり、町の取得により環境改善と防災面の安心安全が図れる。取引金額も低く抑えられ納得できるものだ。

反対

大垣照子議員 保安林がほとんどである山林を、伐採し開発が可能なのか。取得価格も高額すぎる。町民の賛成は少なく背信行為だ。

賛成

内田雅人議員 山頂の景観やグランド施設などの検討など、将来的に町民に大きなメリットを生むと考える。

採決の結果は?

件名	結果	岩田明人	大垣照子	村尾明利	内田精彦	内田勇	川西明徳	藤原和範	石原武志	内田雅人	土屋武雄	景山利則	糸原壽之	田食道弘
財産取得について	可決	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長(藤原充博)は採決に加わりません。 ○:賛成 ●:反対

われら おくいずもん

麻雀クラブ 369

さぶろくきゅう



麻雀と聞くとあまり良いイメージは浮かんできませんが「麻雀クラブ369」の皆さんは健康麻雀をとおして世代間交流を推進し、地域に貢献しようと考えていらっしやいます。

皆さんは2011年に、町内外の30歳代の方で結成され、現在は20名の会員で活動されています。

頭と指先を同時に使い会話も楽しみながら麻雀をプレイすればとても良い刺激があり、最近では麻雀が頭脳スポーツとして認められ、ねんりんピックの正式種目に採用されたり、認知症予防や介護面で福祉業界からも注目されているようです。

そんな麻雀をツールに繋がり、大会を開催したり文化祭では体験コーナーを出店して、10代から70代の幅広い皆さんの交流推進役となっています。グループ名麻雀クラブ369は、麻雀牌で3番6番9番は数ある役筋の中でも一番強く広がりがあり会員の皆さんも強く広がりのある会にしようと命名されたそうです。

一緒に麻雀を楽しみましょう。とのことですよ。

問い合わせ先 代表 藤原宗之 奥出雲町下横田478

議会を傍聴しませんか

○次回の定例会は

12月6日からです。

○一般質問は 9日・10日

○詳しくは議会事務局へお尋ねください。

TEL (0854) 52-2678

議会からのお願い

○議会や議会だよりへのご意見、ご感想、また「まちの元気グループ」へのご応募もお待ちしております。議会事務局までお気軽にお寄せください。

《あて先》

〒699-1832

奥出雲町横田1007

奥出雲町議会事務局

FAX (0854) 52-2342

E-MAIL: gikai@town.okuzumoshimane.jp

編集後記

奥出雲町議会は昨年12月の定例会において、議会活性化特別委員会を設置し、本年7月、町内9地区に Outreach「町民の声を聴く会」を開催しました。

多くの皆様から数々のご意見・ご要望をいただきました。その皆様の声は本号に掲載しておりますが、将来に向けての議会活性化に必ずやつながるものと確信しております。

今後、議会も皆様の期待に応えるべく一心で取り組んで参ります。今後ともご支援・ご協力のほどよろしく願います。(景山)

議会広報特別委員会

- 委員長 土屋 武雄
- 副委員長 糸原 壽之
- 委員 石原 武志
- 委員 内田 雅人
- 委員 景山 利則
- 委員 田食 道弘

※表紙写真の都合によりパンチ穴を省略しております